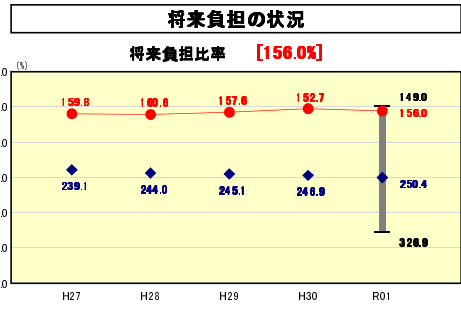


# (3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

人	1,353,837	人(R2.1.1現在)	-	%
うち日本人	1,340,085	人(R2.1.1現在)	-	%
面積	3,690.04	km <sup>2</sup>		
歳入総額	514,284,495	千円		
歳出総額	506,792,689	千円		
実質収支	1,463,625	千円		
標準財政規模	322,377,349	千円		
地方債現在高	1,060,403,357	千円		
実質赤字比率	-	%		
通称実質赤字比率	-	%		
実質公債費比率	8.7	%		
将来負担比率	156.0	%		
グループ	H27 C H28 C H29 C			
(年度毎)	H30 C H01 C			



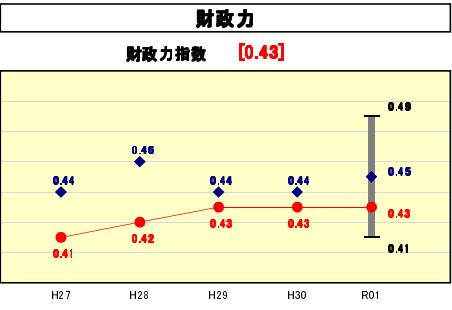
※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



グループ内順位 都道府県平均 2/10 172.9

#### 将来負担比率の分析欄

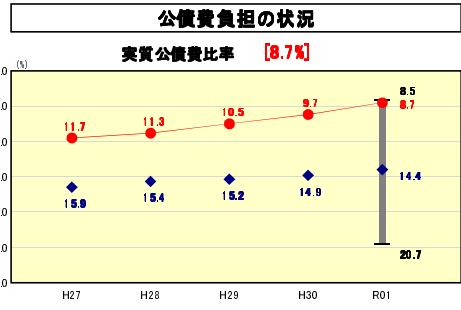
グループ内平均を下回っているのは、投資的経費に充当する通常債について発行抑制に努めてきたことや、交付税措置のある財源的に有利な県債を活用してきたこと、また、退職手当負担見込額の減少によるものである。引き続き通常債の発行抑制や職員定数適正化等に努め、将来負担を極力軽減する。



グループ内順位 都道府県平均 7/10 0.62

#### 財政力指数の分析欄

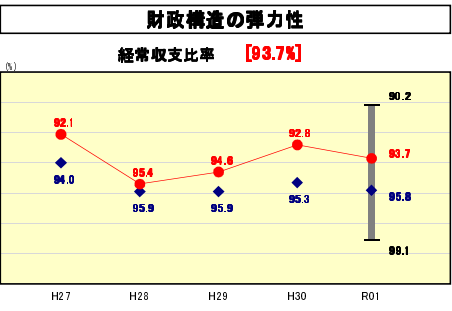
グループ内平均を下回っているのは、県税収入が歳入全体の3割弱に留まるなど、財政基盤が他団体より弱いためである。今後においても経済の活性化等による税源涵養や、県税徴収率の向上など歳入の確保に努めるとともに、職員定数の適正化を進めるなど、歳入の節減合理化に努める。



グループ内順位 都道府県平均 2/10 10.5

#### 実質公債費比率の分析欄

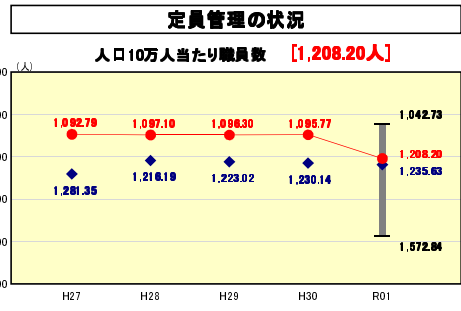
グループ内平均を下回っているのは、投資的経費に充当する通常債について発行抑制に努めてきたことや、交付税措置のある財源的に有利な県債を活用してきたことによるものである。引き続き今後の公債費負担の軽減のため、通常債の発行抑制に努める。



グループ内順位 都道府県平均 3/10 93.2

#### 経常収支比率の分析欄

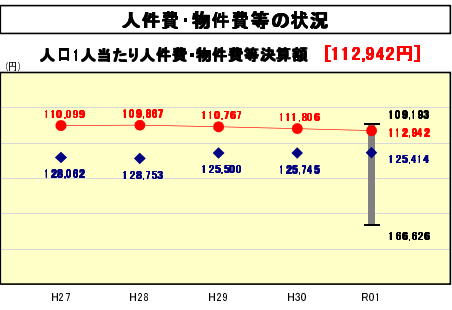
令和元年度においては、臨時財政対策債の減等により経常一般財源収入が減少したことが及び、社会保障関係経費の増等により経常経費充当一般財源が増加したことに伴い、経常収支比率は前年度より増加したものの、公債費がグループ内の他団体よりも低いことから、グループ内平均を下回っている。今後も、通常債の発行を抑制するとともに、経常的な経費の抑制に努める。



グループ内順位 都道府県平均 4/10 1,039.82

#### 人口10万人当たり職員数の分析欄

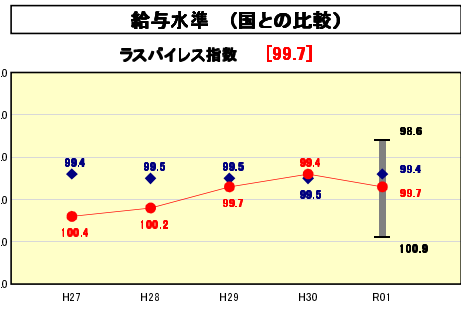
グループ内平均と概ね同水準であるが、令和元年度より、教職員の臨時的任用職員の任用の適正化に伴い、4月1日採用を実施(1,374人)したことにより、職員数が増加したものの、平成11年度から令和元年度までの20年間にわたる職員定数適正化の実施と県立医科大学、県立病院及び県立大学の地方独立行政法人化により、4,528人(21,227人→16,699人)を削減したことによるものである。今後も引き続き、職員定数の適正化に取り組む。



グループ内順位 都道府県平均 2/10 109,994

#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

グループ内平均を下回るのは、職員定数適正化の取組により人口10万人あたりの臨時的任用職員を除く職員数がグループ内2位と少ないことや、光熱水費・内部事務費の節減や事務事業の見直し等、物件費等の節減合理化を行ってきたことによるものである。今後も、職員定数の適正化や物件費等の節減合理化に努める。



グループ内順位 都道府県平均 8/10 100.0

#### ラスパイレス指数の分析欄

グループ内平均を上回っているが、地域手当を考慮した場合には指数がグループ内で2番目に少ない97.8となる。これは、本県の地域手当の支給率が国基準より低いことによるものである。今後も適正な給与水準を維持するため、諸手当等の見直しを引き続き行う。